＊＊2007 年 8 月 1 日作成(第 4 版)
＊2007 年 3 月 8 日作成

＊＊届出番号 11B1X00002Z01005

＊機械器具(1)手術台及び治療台
一般医療機器　婦人科用診療・処置台　36065000

アトム検診台 ET-2000 回転式（R タイプ）
アトム検診台 ET-2000 スライド式（S タイプ）
アトム検診台 ET-2000 固定式

**【警　告】

使用方法

●本器の動作範囲内に人がいたり機器類があると危険です。
動作させる場合は、安全を確認してから操作してください。
[動作範囲内に障害物があると、破損やけがの原因になります。]

●支脚器動作時には患者の反応に気を配り、周囲の安全を確認してください。
[けがの原因になる恐れがあります。]

**【禁忌・禁止】

使用方法

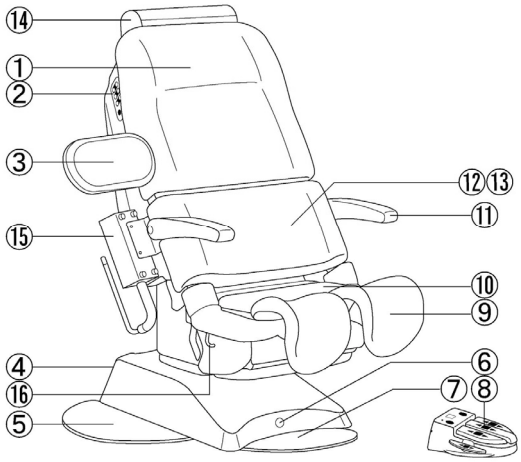
●高周波を発生する機器を、本器の周辺で使用しないこと。
[医用電気メスや携帯電話等の高周波を発生する機器を、本器の作動中に周辺で使用すると、電波障害による誤作動の原因になります。]

**【形状・構造及び原理等】

本品は、背板、腰板、座部、支脚器、および操作パネルなどで構成される本体と、フットスイッチからなる。

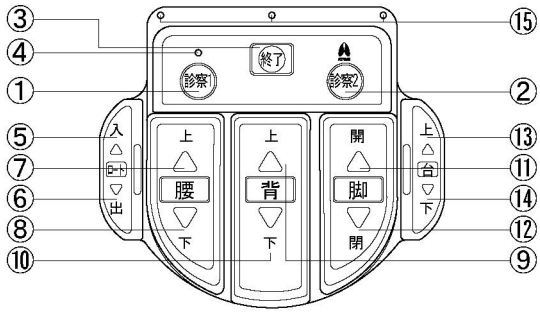
1. 各部の名称

(1) 本体



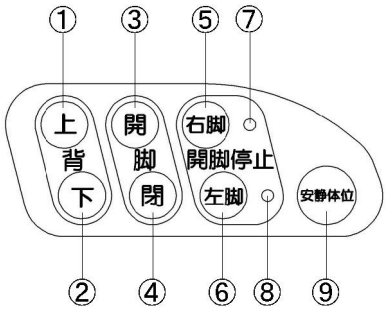
番号	名　称	番号	名　称
①	背板	⑨	支脚器
②	上部操作スイッチ	⑩	座　部
③	上肢板（別途販売品）	⑪	肘　受
④	操作パネル	⑫	腰　板
⑤	転倒防止金具（回転用）	⑬	腰マットカバー（別途販売品）
⑥	フットスイッチ受光部	⑭	ロールシーツホルダー（別途販売品）
⑦	転倒防止金具（スライド用）	⑮	ファイバーライト（別途販売品）
⑧	フットスイッチ	⑯	器械掛（別途販売品）

(2) フットスイッチ



番号	名　称	番号	名　称
①	診察 1 開始スイッチ	⑨	背上昇スイッチ
②	診察 2 開始スイッチ	⑩	背下降スイッチ
③	診察終了スイッチ	⑪	支脚器開脚スイッチ
④	信号出力ランプ	⑫	支脚器閉脚スイッチ
⑤	ロート入りスイッチ	⑬	台上昇スイッチ
⑥	ロート出スイッチ	⑭	台下降スイッチ
⑦	腰上昇スイッチ	⑮	フットスイッチ送光部
⑧	腰下降スイッチ		

(3) 上部操作スイッチ



番号	名　称	番号	名　称
①	背上昇スイッチ	⑥	左開脚停止スイッチ
②	背下降スイッチ	⑦	右開脚停止表示ランプ
③	支脚器開脚スイッチ	⑧	左開脚停止表示ランプ
④	支脚器閉脚スイッチ	⑨	安静体位スイッチ
⑤	右開脚停止スイッチ		※ET-2000 A フルフラットのみ

2. 寸法・重量

(1) 寸　法：幅 72cm　回転式は、(転倒防止金具+14cm)
奥行き 108cm　高さ 130cm

(2) 重量(本体)：約 177kg(A フルフラット：回転式)
約 167kg(B：回転式)
約 188kg(A フルフラット：スライド式)
約 178kg(B：スライド式)
約 171kg(A フルフラット：固定式)
約 161kg(B：固定式)

取扱説明書を必ずご参照ください。

3. 原　理

本品は電動式で動作し、検診台の昇降、背板・腰板の傾斜、支脚器の開閉、および汚水ロートの出し入れ、また、機種により、検診台の回転、背板のスライドなどができる。

**【使用目的、効能又は効果】

1. 使用目的

本器は、婦人科領域の診療および処置時に、女性の体位を適切な位置に支持するために用いる調節可能な診療・処置台である。

**【品目仕様等】

1. 機器の分類

(1)電撃に対する保護の形式：クラスⅠ機器
(2)電撃に対する保護の程度：B形装着部

2. 電気的定格

(1)定格電圧：AC100V±10%　周波数 50/60Hz
(2)電源入力：500VA
(3)デューティサイクル：最大連続駆動時間 6 分
　　停止時間 60 分以上

2. 製品仕様

(1)作動方式：電動方式
(2)昇降範囲：78cm～103cm（±2cm、腰板マット水平時、上面にて）
(3)腰板傾斜角度：水平～30°(±2cm､背板が下方向傾斜時には水平のみ)
(4)背板傾斜角度：－10°～20°(±2cm、腰板傾斜時には、0°～20°)
(5)支脚器開閉角度：0°～35°(±2°、左右)
(6)汚水ロート：自動スライド動作
(7)乗降回転角度：0°～120°(±5°、切換可、左右)

**【操作方法または使用方法等】

1. 操作方法　　※詳細は取扱説明書を参照すること。

(1) 電源スイッチをＯＮにする。
(2) 希望する診察体位になるまで、フットスイッチで台昇降、腰板・背板傾斜、脚開閉、およびロート出入りの微調動作を行う。
(3) 本体後部の操作パネルにある記憶１あるいは記憶２を押して、診察体位を設定する。
(4) 診察終了スイッチを踏み、初めの乗降位置まで自動動作させる。
(5) 診察１、あるいは診察２の開始スイッチを踏み、記憶設定されている診察体位まで自動動作させ、診察などに使用する。
(6) 診察終了スイッチを踏み、初めの乗降位置まで自動動作させる。

**【使用上の注意】　※詳細は取扱説明書を参照すること。

(1) 本器の設置は、確実にベーストッパーを回して固定すること。また、転倒防止金具（固定式は除く）を確実に固定すること。
［転倒や移動などして、破損やけがの原因になります。］
(2) 本器の動作電圧範囲（AC100V±10%）外では使用しないこと。
(3) 電源コンセントは本器の近くで、電源コードに人が触れない位置を選び､機器1台ごとに専用のコンセントを用いること。また、電源コードは、正しくアースされた３芯接地型コンセントだけに接続し、アースを確実にとること。
(4) 絶対に延長コードを使用しないこと。
(5) 本器が正常に動作しないときは、すぐに使用を中止すること。
(6) 本器を布などで覆った状態で使用しないこと。
［過熱して火災や感電の原因になります。］
(7) 台を動作させるとき、動作範囲内の安全を充分に確認してから操作すること。
［けがや故障の原因になります。］
(8) 腰板・背板の傾斜、脚の開閉、あるいはロートの出入りなどで動作するときは、動作範囲内の安全を充分確認してから操作すること。
(9) 自動動作中の動きを停止させるときは、フットスイッチでは診察１・終了・診察２・ロート出入・腰上下・背上下・脚開閉・台上下のいずれか１つのスイッチ（すなわち全スイッチのどれか１つ）を押し、上部操作スイッチでは背上下・脚開閉のいずれかを押すこと。
(10) 座部、支脚器、および肘受などの使用時には、ストッパーが確実にロックされていることを確認すること。
［けがの原因になります。］
(11) 汚水ロートに乗ったり、足をかけないこと。
［汚水ロートの破損や、けがの原因になります。］
(12) 座部の両サイドにある解除レバーは、安静体位の状態の時以外は使用しないこと。
［けがの原因になります。］
(13) 足受けマットを収納するときは、足受けマット側面を持ったり、足受けマットの収納部付近に手を入れない。
［手を挟んだり、けがの原因になります。］
(14) 分解や改造をしないこと。
［火災や感電、けがの原因になります。］

【貯蔵･保管方法及び使用期間等】

1. 保管条件

周囲温度：－20～45℃
相対湿度：10～95%（ただし結露しないこと）
気　　圧：70～106kPa

2. 耐用期間

本器の耐用期間は 6 年です。［自己認証データによる］

【保守･点検に係る事項】

本器を安全に、より長い間ご使用いただくために、取扱説明書の第7 章の記載に従って、保守点検を実施してください。保守点検には｢使用前の点検｣、｢3ヵ月毎の点検｣、があります。
また、定期的に交換が必要な部品があります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

■製造販売業者
アトムメディカル株式会社
〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1
TEL:048-853-3661(大代表)　FAX:048-853-0304(代表)

■製造業者
アトムメディカル株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-15
TEL:03-3815-2311(大代表)　FAX:03-3812-3144(代表)